作品:青木様、加藤様、竹居様

第126号 〒375-0024 藤岡市藤岡 1019-2 デイサービスセンターまほろば **a** 0274-40-2022

編集委員 宇佐美・田辺

深まりゆく秋を感じる頃となりました。この時期は、一日の中で寒暖の差が大きく、朝晩は肌寒くなってきました。 寝具や衣類をこまめに調整して、体調管理には十分ご注意をお願いします。

インフルエンザの季節が近づいています。今年も新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医 療体制のひっ迫が懸念されますので、接種する事が勧められています。10月1日より、市内の医療機関で予約後に 接種する事が出来ますので、早めのご予約をお願い致します。 なお、65歳以上の方は各市町村で補助が受けられま すが、期間が12月31日までとなっていますので、ご注意ください。

【潤青会からのお願い】-

- ・ワクチン接種は進んでいますが、感染力の強いデルタ株やブレイクスルー感染もあります。 引き続き、マスクの着用、手洗い、うがい、換気の励行などをお願いします。また、集団感染を防ぐため、 少しでも下記の状態があった場合は、ご利用を控えて頂きたいと思います。ご協力宜しくお願い致します。
 - ●熱が 37.0℃以上の方
- ●体調不良(せき・鼻水・倦怠感・下痢・吐き気等)の方
- ●同居されているご家族様がコロナ感染症の疑いや、インフルエンザ等の症状がある場合。

また、ご自宅での朝の『検温』は引き続きお願い致します。



☆予備用のマスクご持参のお願い☆

デイサースまほろばでは、ワクチン接種有無に関わらず、マスク着用を引き続きお願い致します。 マスクが汚れる事等もありますので、予備のマスク(2、3枚)のご用意もお願いします。

《行事報告》

20 日敬老の日には、職員がお祝いに人形 劇やダンスを披露しました。

『大きなカブ』の人形劇(ペープサート) では、利用者様にはカブを引っ張るかけ声を かけて頂き、会場は盛り上がりました。

炭坑節では、フラダンスのスカートをはい た職員が中側で円になり、皆様と一緒に踊っ て頂きました。

最後には全員『もみじ』を唄い、楽しいひ と時を過ごして頂きました。

●手作りおやつ(さつま芋の鬼まんじゅう)

今月の手作りおやつは『さつま芋の鬼まんじ **ゅう**』でした♪

ホットケーキミックス生地をアルミカップ に入れ、サイコロ状のさつま芋をお好み量入れ て頂きました。厨房で蒸してもらい完成♪ 「さつま芋の甘みが美味しい。秋のおやつだ

ね。」と大変ご好評頂きました。









●9月利用者機作品(コスモス、トンボ、秋の夜空)













施設の空き情報

心改り全合情報		3年9月30日現在
特 養 23 0274 23-6520	現在は入居し易い状況 随時、お申し込みやご け付けておりますので さい。要介護 2 までの 気軽にご相談下さい。 【担	見学、ご相談を受 、お問い合わせ下
ショート ステイ	10月→現在、少しだけ 11月→先着順に予約 12月以降については ロングショートに関し より、受け入れが可能	受付しています。 ご相談下さい。 ましても、調整に
3 0274 23-6520	ので、ご連絡下さい。 なお、ご家族の事情等 合も、出来る限り対応な	

グループ ホーム **2**0274

20274

23-6520

現在は入居し易い状況となっています。 お申込みやご相談は、随時受け付けてい ますので、お気軽にご相談ください。

でご相談下さい。 【担当:平石、井口】

【担当:加藤】

デイサービス

40-2022

月曜~土曜の全ての曜日に空きがござ います。ご利用を希望される場合は、お 気軽にご連絡下さい。 機能訓練については、専門職が担当し ています。(理学療法士・按摩マッサー ジ師・看護師) 【担当:平井】

暮らしの知識。コスモスの豆知識

◎コスモスは明治に"来日"した外来種。秋の季語

コスモスの和名は「秋桜(あきざくら)」という、いかにも日本らしい名前ですが、実は明治のはじめごろに"渡 来"した、りっぱな外来種です。容易に栽培でき、丈夫で手間がかからないので、明治の末には全国的に広まった ようです。原産地はメキシコなので、栄養分が少ない乾燥した土地を好みます。水やりや施肥をする必要がないの で、園芸初心者にもおすすめです。

在来種は白、ピンク、赤の 3 種類ですが、今では品種改良により、黄色や黒(チョコレート色)など、さまざま な種類のコスモスも増えています。夏の早咲きから秋の遅咲きまで、咲く時期もいろいろですが、「秋桜」の名の 通り、秋の季語です。花言葉は「調和」「謙虚」「美麗」。群生が似合う花に似つかわしい花言葉です。

◎「秋桜」と書いて「コスモス」と読ませたのは、あの歌を作詞したあの人の仕業…

コスモスは外来種なので、和名が「秋桜」であっても、それを「コスモス」とは読みません。「秋桜」と書いて 「あきざくら」と読みます。逆に、日本に古くからある「女郎花(おみなえし)」や「百日紅(さるすべり)」など は、当て字の漢字があり、古くは万葉集や古今集などでも詠まれています。

では、なぜ「秋桜」と書いて「コスモス」と読むようになったのでしょうか。それは、昭和 52 年に山口百恵が 歌った「秋桜」という歌謡曲が大ヒットしたからなのです。嫁ぐ娘が母を思う気持ちを歌った歌で、当時の山口百 恵は 18歳でした。作詞作曲はさだまさしさん。曲のタイトル「秋桜」を「コスモス」と読ませ、歌詞の中でも「秋 桜」と表記して「コスモス」と読ませました。「秋桜」と書いて「コスモス」と読ませる…。

当時の歌謡曲は、キーワードとなる漢字を違う読み方で読ませるのがはやっていて、有名なところでは「本気」 と書いて「マジ」、「恋敵」と書いて「ライバル」、「運命」と書いて「さだめ」などなど。これら 3 つは幾分「無 理矢理感」が感じられますが、「秋桜」と書いて「コスモス」は図鑑や難読漢字にも取り入れられるほどで、歌の 世界から抜け出し、ほぼ一般化しています。今では「秋桜」を何の疑問もなく「コスモス」と読む人が多いのでは ないでしょうか。

1日(金)・・・芋煮会

7日(木)・・・味わい御膳

15日(金)・・・お誕生日昼食会

21日~27日 · · 理容

23日(土) ・・・手作りおやつ

25日(月)・・・駅弁昼食(横川駅 峠の釜めし)

25日~30日・・まほろば温泉